

|          |         |      |     |       |      |
|----------|---------|------|-----|-------|------|
| 授業科目     | 神経系の解剖学 |      |     |       |      |
| 担当者      | 大井康浩    |      |     |       |      |
| 実務経験者の概要 |         |      |     |       |      |
| 学科名      | 作業療法学専攻 | 学 年  | 1 年 | 総単位数  | 1 単位 |
|          |         | 開講時期 | 後期  | 選択・必修 | 必修   |

## ■ 内 容

中枢神経系および末梢神経系の構成および機能を理解し、感覚（上行路）、運動（下行路）の伝導路を学ぶ

## ■ 到達目標

解剖学は他の医療系科目の基礎となる重要な科目であり、神経解剖学を学ぶことにより、中枢神経系、末梢神経系の神経系疾患、リハビリテーションを理解を助けるための基礎をつくる。

## ■ 授業計画

- 第1回 髄膜、脳室、脳脊髄液脊髄：各部の名称、前根、後根
- 第2回 大脳：1. 溝、回、葉 2. 大脳皮質 3. ブロードマン野 4. 運動野、体性感覚野 5. 優位半球 6. 神経線維の種類
- 第3回 大脳：大脳基底核、内包、大脳辺縁系[扁桃体]
- 第4回 大脳辺縁系[海馬]  
間脳：視床上部、視床、視床下部  
中脳：中脳蓋、中脳被蓋、大脳脚
- 第5回 橋：橋底部、橋被蓋  
延髄：オリーブ、錐体交叉、網様体  
小脳：構造（皮質・髄質・小脳核）とその機能
- 第6回 末梢神経系：脊髄神経前枝、脊髄神経後枝
- 第7回 末梢神経系：腕神経叢
- 第8回 末梢神経系：脳神経 《嗅神経、視神経、動眼神経、滑車神経、三叉神経、外転神経
- 第9回 末梢神経系：脳神経 《顔面神経、内耳神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経》  
自律神経系： 交感神経、副交感神経
- 第10回 下行性伝導路： 錐体路、錐体外路（パーキンソン氏病）、反射
- 第11回 上行性伝導路：温痛覚、非識別性触圧覚、識別性触圧覚・深部感覚
- 第12回 上行性伝導路：1. 無意識的な深部感覚：脊髄小脳路・副楔状束小脳路 2. 関連痛
- 第13回 総復習
- 第14回 総復習
- 第15回 総復習

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）100%】試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格とする。

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

質問はいくらでもして下さい。復習を毎回行い、自分で調べて理解して下さい。

## ■ 教科書

書名：PT・OT・STのための解剖学

著者名：渡辺正仁 監修

出版社：廣川書店

## ■ 参考図書

書名：消って忘れない解剖学（PT・OT 必修シリーズ）

著者名：井上 馨、松村 讓兒

出版社：羊土社

## ■ 留意事項

## ■ 講義受講にあたって